

メディア部門雑誌最優秀賞

貝印株式会社 AUGER マルチユーズブラシ 心に触れて“整える”時間

この度は、メディア部門雑誌最優秀賞の受賞、誠にありがとうございます。

貝印は、身だしなみを整えるグルーミングツールブランドとして、AUGERを2022年にローンチしました。

同ブランドのコンセプトは「Kiss our humanity 心に触れて“整える”時間」です。例えば髭剃りは、毎日行うものです。その時間は、1日たった1分だとしても、生涯積み重ねれば大きなものになる。だから私たちは、そのわずか1分間の濃度を上げ、豊かな時間に変えていきたい。自分自身と向き合い、慈しむ時間にしてもらえればと思っています。そうすれば、身なりだけでなく心も整い、その後の行動や思考も整えることにつながっていくはずだと考えています。

AUGERが提供したいのは、暮らしを「整える」心地よい豊かな時間です。

「身だしなみ」は一個人としての行動ではある反面、社会的な営みと併存していると感じることもあります。

今は男性でもメイクをし、女性でも脇毛は剃らないなど、それぞれ社会の写し鏡として、男女問わずよりポジティブで自由度の高い「身だしなみ」を選択できる時代になってきています。

今回の企画でピックアップしたのは、AUGERのブランドアンバサダーも担っていただいている俳優の板垣李光人さんにプロデュースいただいた「マルチユーズブラシ」です。メインクリエイティブにも板垣さんを起用させていただいています。

ジェンダーニュートラルな魅力を持つ板垣さん自身も、本誌のインタビューで「僕はメイクをすることで、解毒しているんです。メイクをすることによって、自分の心を整えているのかもしれませんが。」と話していますが、そもそも、自分以外の人や社会の存在がないと自分の身だしなみを整えようと思わない、自分以外の誰もいない場合、服すらも着る必要がないのでは？とも思います。その意味では社会の写し鏡として自分をどう捉えるのが「身だしなみ」や「心」を「整える」ことではないでしょうか。

今後も貝印は、広告に限らず、様々なスタイルのコミュニケーションで、人や社会に貢献をしていきたいと考えております。

最後に、このフジサンケイグループ広告大賞を運営いただいた事務局の皆さま、そして広告づくりに携わっていただいた制作者の皆さまに深く感謝を申し上げます。

貝印株式会社
上席執行役員 CMO
AUGERブランドディレクター

鈴木 曜



メディア部門雑誌最優秀賞

貝印株式会社 AUGER マルチユーズブラシ 心に触れて“整える”時間



metropolitana 10頁

制作者のことは



株式会社イーター
ディレクター
西原 幸平

リモートワークの普及で、オンライン会議が増えました。そこで見せつけられる自分の顔面……、男性も美容に無関心ではられません。そんななか2022年に貝印が世に送り出したのが、AUGERです。身だしなみを「整える」という行為の心地よさ。高い機能性とシンプルなデザインを兼ね備えたツールは、そんなことに気づかせてくれます。そして、このAUGERが2023年に発売したアイテムが、今回の臨時増刊号で紹介したメイクブラシです。巻頭企画に登場するのは、ブラシを監修した俳優・板垣李光人さん。「メイクで整える」、その喜びについて語っていただきました。整える心地よさと楽しさ。そんなことを読者に感じてもらえればと思い、制作した誌面です。

使用媒体 ● metropolitana

企画制作＝株式会社イーター／ディレクション＝西原幸平(株式会社イーター)／アートディレクター＝タキ加奈子(soda design)／デザイン＝北英理香(soda design)／撮影＝今江寿之・小坂茂雄・ITCHY／ライター＝佐藤有紗・揚石圭子／スタイリスト＝伊藤省吾(sitor)／ヘアメイク＝KATO(TRON)